

NPO法人もりふれ倶楽部では、令和3年12月16日（木）益田市立真砂小学校生徒3年生以上7名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全のお話」と「飾り炭」の指導を行いました。

～飾り炭～



薪で火を焚くことのお話をした後、空き缶で木の炭を作る説明を行い、自分の好きな木の实を入れてもらいました。



木の实を入れた空き缶を火の中に入れ、缶から煙が出るのを待ちました。

煙が出た缶を取り出しました。



火から取り出した缶を濡れた布で冷やし、缶が冷えてから缶の中の木の实を取り出してもらいました。木の実の飾り炭が出来上がりました。

～森林保全のお話～



響繁則氏のシイタケ作りのお話を通して、森林の保全の必要性についてのお話をしました。